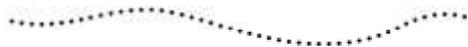


# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次

- ☆学習会便り・・・・・・・・・・・・・・2
- ☆虫めがね・・・・・・・・・・・・・・3
- ☆虫めがね 署名 寄付のお礼・・・・4
- ☆実習所報告 スケジュール・・・・・・・・5
- ☆小野塚さん連載・・・・・・・・・・・・6
- ☆和栗さん連載 夕会便り・・・・・・・・7
- ☆編集後記・・・・・・・・・・・・・・8



# 巻頭文

やっとぽかぽか陽気  
になってきて冬物のコ  
ートやシャツ等の衣類  
が終えます。  
今年は天候が不順で、  
なかなか終えなかつた  
ので、クーリーニング屋  
にも影響が少なからず  
影響があったようです。

三木 直人

# 学習会便り

四月十四日

歌とおどりの詩をみんなで考えた。  
太田のだんなの詩にきまりました。  
ふたりほど僕と小野塚さんお願いします。  
僕は詩を採用にされないので。  
読んでもらいたいです。

四月二十一日

ハリウッド映画と日本映画の違い  
講義の心理テストや目の不思議（だまし絵）  
言葉について話した。とても好きです。また  
やってほしい

四月二十八日

算数難しいとおもいました。割り算と掛け  
算、僕は山名さんに教えてもらった。  
田中君と丸山君、地震の発生、  
クイズ形式に○×問題。ナマズの力教えても  
りました。

松本 恵司



僕の行ってみたい場所は、日本でいえば北海道や沖縄です。北海道には十四年ほど前に、僕が二十歳の成人祝いで、札幌と小樽へ行って楽しい思い出に残っているので、次は車で北海道を回りしたいと思います。沖縄には、今まで行ったことがないので、エメラルドグリーン的大海や温暖な気候などが憧れてしまいます。海外で行ってみたい場所は、スポーツが盛んな国に行ってみたいです。アメリカやヨーロッパなどに行き、メジャーリーグとかサッカーなどを観戦したいです。それだけでなく、噂ですがアメリカのハンバーガーやコーラーがでかくてボリュームがありそうなので、ぜひ食べてみたいなあ。

田中 聡

# 虫めがね

〜行ってみたい場所〜



「行ってみたい場所、どこかある？」君は唐突にそう尋ねる。  
「君が行きたいところならどこへでも」考え事をしながら、僕はつぶやく。  
「ステレオタイプな答えね」少し呆れ顔で君は言う。「私が聞きたいのはそういう答えではなくて、もっと現実的なもの」。  
僕はそれについて、現実的に考えてみる。「現実的なテーゼとしての問いと捉えるなら、現実的直面を打開するのに手一杯で、夢物語を妄想する余裕は今の僕にはない」現実的あるいは形而上学的に思考すれば、こんな回答しか見出せない。うんざりする性格だ。  
「もう少し、ロマンティシズムのある答えを望んでいるのだけれど・・・」少し控えめに、けれど期待感をこめて君は言う。  
マルポロを一吐きし、ちよつと考えてみるというような間をおいてから僕は言う。  
「考古学者ポール・コソック博士により発見され、数学者マリ・ア・ライヒエによって解明作業が行われた、ペルーのナスカ川とインヘニョ川に囲まれた乾燥した盆地状の高原の地表面に描かれた幾何学図形や動植物の絵。この世界遺産は一見する価値のあるものだと思う」ロマンティックとはかけ離れた、ある意味プリミティヴな答えしか口からでない自分にまたうんざりする。  
「・・・あなたのそういうペダンティックな言い方、嫌いじゃないわ」マイルドセブンライトを指にはさみながら上目遣いに君は言う。  
君にそう言われて、また僕はいつもより少しだけ自分のことが嫌いになる。



小野塚 航



## 虫めがね

私は大阪に行って見たいです。大阪は行ったことありません。大阪に行きたいです。  
右田磨子



## 署名報告

今年の小規模作業所等成人期障害者診察に関する請願書「きょうされん第33次国会請願署名・募金」4/19現在で、署名が243筆・募金34,700円頂きました。

本当に、沢山のご協力ありがとうございました。皆様の思いが込められた署名は、きょうされんで取りまとめて、代表団により国会に提出します。

また、いただいた募金は請願運動の資金やきょうされんの様々な活動のために、大切にに使わせていただきます。

署名用紙を実習所にご郵送された皆様、署名にご協力下さった皆様、募金を下さった皆様、街頭でお声をかけていただいた皆様にこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

## 寄付のお礼

### 賛助会にご賛同

### 下さった方

福島照行様、 福島幸子様、  
内田茂様、  
滝口雅祥様、 松本成子様、  
森部清様、  
右田磨子様、 立石豪様、  
和田省三様、 岡竹徹様、  
田中マサコ様、  
渡辺さよ子様、 三木順子様、  
諏訪敏子様、 平沼実華様、  
谷島イクエ様、 東寿司様

ご協力ありがとうございます。  
ご報告



五月八日・・・外に出よう全体集会

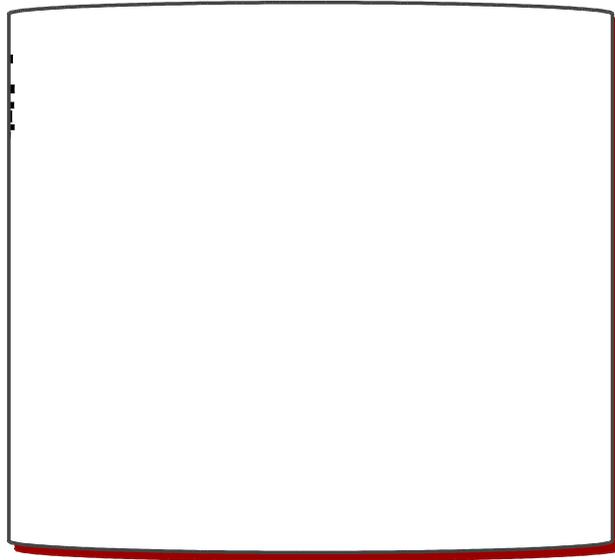
十一日・・・・・・・・総務

十二日・・・・・・・・運営委員会

十六日・・・・・・・・外に出よう

二十三日・・・・・・・・外に出よう予備日

# スケジュール



# 実習所 報告

職員が大幅に入れ替わり、作業所全体の雰囲気も変わっていく中、企画も様変わりしてまた違った空気になっている。4月といえば新年度でもある。新しいスタートにはらょうどいい時期だ。これまでの長所を踏襲しつつ、新しいアイデアもどんどん取り入れていく。それがステップアップとなれば良い兆候だ。  
時代は変わっていくのだ。

企画

小野塚

## わたるのドミトリライフ

【ドミトリとは英語のdormitoryつまり寮という意味】

### 第27話 途中入寮生について その1 ～ ヒロ ～

寮には、学期の半ばから入る学生もいる。いわゆる途中入寮生だ。新歓期を体験せずに寮での生活を始めるので、それなりにたいへんさや覚悟も必要だろう（特に先輩後輩の人間関係を覚えたり、自治のルールを学ぶのは時間がかかる）。マイペースで馴染んでいく人や途中入寮初日からみんなの輪の中に溶け込んでしまっている人、慣れるのに時間がかかっているつまでも浮いてしまっているような人、十人十色に様々だ。

4年目の夏の終わり頃、ヒロという3年生が途中入寮してきた。昔は途中入寮生を迎えるコンパがあったが、次第にそういう習慣もなくなり、途中入寮生がいつ入ったのか気付かないこともあった（まあしかし噂で耳には入ってくるし、一緒に生活していれば自然と分かっているもの）。だから彼女が正確にはいつごろ寮に入ったのかは僕の中ではあやふやになってしまっている。たぶん夏の終わり頃だったと思う。そういうことにしよう。

ヒロの第一印象は清楚な女性、だった。それまで僕が接してきた女子寮生は良くいえばオープンな女性達といえし、同時にそれはオープン過ぎる女性達ともいえた。寮生活にどっぷりと浸かっていた当時の僕には、そういう女性がスタンダードだと思えてしまっていた。そんな中に突如現れたヒロという存在は、僕にとってはある意味で衝撃的ともいえた。日常の中で、それほど頻繁に会える訳ではなかったけれど、彼女に少しずつ惹かれていった。

ヒロについていろいろ知りたいと思うようになり、けれどどうすればいいのかわからずに悶々としていく中で手助けとなった寮生がいた。その人も途中入寮生で、その年の春の終わり頃に入寮したと記憶している（そういうことにしよう）。その途中入寮生は、とにかく明るい性格で、誰とでもすぐに打ち解けられるようなタイプだった。僕の第一印象は「うるさくて騒がしい後輩」だった。けれどもその騒がしさは人懐こさでもあり、次第に僕も自然に接するようになっていった。彼女の名前はマリという。

マリとの何気ない会話の中から、ヒロについて少しずつ知ることができた。経済学部だということ、実家は驚くことに僕と同じ市だということ、一見おしとやかにみえるけれど実はけっこう気が強いことなど、マリからいろいろと情報を仕入れた。そして、ヒロにはかなり付き合いの深い彼氏がいることも、徐々にわかってきた。

ヒロとの距離を近づけるためにはどうすればいいのか、マリにあれこれと尋ねた。「やっぱり一、何かにつけて話をするチャンスをもつのが一番なんじゃない？」とか「でもね、しつこい男は嫌われるよー！」とかたくさんアドバイスしてくれた。なるほど、と頷いたり、それはちょっと大袈裟なんじゃ、と訝しむこともあったが、恋愛経験が乏しかった僕にとってマリの意見はとても参考になった。

マリのアドバイスを踏まえながら少しずつヒロとも接していくのだが、緊張感からなかなか言葉が続かない。うまくいくときは稀で、自分自身の不甲斐なさにがっかりすることのほうが多かった。厄介なのは、ヒロと接触できる機会が一向に増えないということだ。日中は学校に行っているし、寮では部屋で過ごすことが多いのか、食堂でばったり会うということもない。どうしようもない状況で、僕はまたマリにアドバイスを求めた。

～ その2につづく ～



# 編集後記

僕は前から、疑問に思うことがあります。それは、マザコン（マザーコンプレックス）が、世間の皆さんにダメ呼ばわりされていますが、本当にダメなのでしょうか？母親を大切にすることによって、女性（彼女）や子供や動物などに対して、とても大切に思うのです。両親からの愛情がそれだけ重要なのです。僕は、未だに両親の愛情を貰っていません。感謝しています。

タナッキー

僕は今新しいパソコンに切り換え、今までとは違う機種になったため、僕は悪戦苦闘しています。僕は若い頃はこれでも機械には、強いと思っていましたが、年をとった今、新しい機種でこんなに苦労するとは思いませんでした。子供の頃から、僕は機械には自分では相当自信があったつもりなのに。相当これから勉強しないと皆さんについていけなくなるかも知れません。なんて言っちゃって。とにかく新しい機械に対して頑張っていきたいと思います。

太田 稔

私は幸せな人で、とうとう大自然を満喫することができました。旅行に行く目的は景色を見ることで（大自  
然、大都会）一緒に行った人に、あきれられるほど窓に  
張り付いて外ばかりを見ています。十七歳の頃から五十  
年間いろいろなどころへ旅行へ行きましたが、ほとんど  
星空には縁がなくて見上げる機会も有りませんでした。  
でも今回の旅では夜の公園へ行き、南十字星や天の川を  
初めて見てきました。これが最後の海外旅行だとは思っ  
ていませんが、もう日本に切り替えようかとも心の声が  
聞こえてきています。

太田 圭子

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者  
太田野田 圭子  
小野田 航子  
松田中塚  
右田本  
吉田  
栗原 和幸  
栗原 三木  
栗原 田村  
栗原 佐久間  
栗原 太田  
栗原 久野  
栗原 直亮  
栗原 高史  
栗原 人彦  
栗原 庸稔

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

